

県内の死亡事故の特徴

(1) 死者の年代別：高齢者が6割を超える

年代別では、65歳以上の高齢者が37人中23人で、6割を超える。

高齢者23人は、歩行中が10人、四輪車運転中が7人、自転車乗用中が3人、四輪車同乗中が2人、二輪車運転中が1人である。

(2) 死者の状態別：歩行中が最も多い

状態別では、歩行中が37人中15人と最も多い。

歩行中の死者15人（昨年同期32人）のうち高齢者は10人で、昨年の死者24人と比べると激減した。

(3) 昼夜別：夜間が6割近くを占める

昼夜別では、夜間が36件中21件と6割近くを占める。